

123I-IMP脳血流におけるPlanar収集カウントを用いたSPECT収集カウント予測の検討

## 1. 研究の対象

2024年1月～2024年7月31日の期間に当院に於いて123I-IMP脳血流シンチグラフィ(脳神経外科からの依頼を除く)を実施した方

## 2. 研究目的・方法

臨床の脳血流SPECT検査では患者様ごとに脳血流量が異なる為、患者様によらず一定のSPECT撮像時間で検査を実施した際の医師に提供する検査画像の画質は異なります。脳血流量が低下している症例においては、画質の劣化につながる場合があります。このような症例は、撮像時間を延長し収集カウントを増やすことが望ましいですが、事前に患者様ごとのSPECT収集カウントを知ることができないため、撮像条件等を調整すべきか判断ができないのが現状です。そこで通常の脳血流シンチグラフィ検査で取得される情報をもとに患者様ごとのSPECT収集カウントを推測することができるのかを研究したいと考えます。本研究により推測が可能であることを証明することができれば、今後の脳血流シンチグラフィにおいて患者様ごとに撮像時間を調整し、撮像画像の画質を一定に担保することで検査精度の向上を目指します。

研究方法としては、投与量167MBqの123I-IMP脳血流シンチグラフィの臨床データ100症例より回帰式を算出し、過去の研究で採取した投与量111MBqの123I-IMP脳血流シンチグラフィの臨床データを用いて回帰式の精度を確認します。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～令和7年12月31日

利用又は提供を開始する予定日 令和7年4月1日～

## 3. 研究に用いる情報の種類

脳血流シンチグラフィ検査で取得されるSPECT収集カウント

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

\*\*\*\*\*

研究責任者：〒783-0043 高知県南国市岡豊町小蓮185-1

TEL 088-866-5811 (内線23800)

高知大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 切詰 力斗